

ほろ酔いインタビュー●佐佐木幸綱交遊録●

2019・12・28 於・佐佐木邸

〔第17回〕加賀乙彦、開高健、深沢七郎、横山大観、谷崎潤一郎、川田順、信綱

／短歌入門書を執筆、石川一成、『旅の歌』の執筆、日航機墜落事故、頼綱・定綱兄弟など

佐佐木幸綱・高山邦男・墨石剛仁・加古陽・奥田七羊・森屋めぐみ・清水あかね

＋佐佐木頼綱・定綱

▽「東京歌会」に見えた加賀乙彦さん

高山 今年も年末恒例のほろ酔いインタビューを始めます。今回は佐佐木先生の第十七歌集『テオが来た日』（二〇二一年一月刊）の出版記念のインタビューでもあります。

今回のメンバーは去年と同じく、黒岩、

加古、奥田、高山の四人と森屋めぐみさんと清水あかねさんです。そして、この夏に第一歌集『月を食う』（角川書店）を出された佐佐木定綱さんにも参加していただきませう。途中から佐佐木頼綱さんが参加される予定です。いつものように佐佐木朋子さんに大変お世話になります。年表は谷岡亜紀さん、大口玲子さん作成のもの（『佐佐木

幸綱の世界』第一六巻所収）を使います。テープ起こしは吉田瞳さんです。

今回から、先生の交遊録を語っていただくコーナーを作りました。まず、ここから始めたいと思います。

幸綱 このコーナーを作ろうという案は、十二月の東京歌会に加賀乙彦さんが参加してくれたことから思いついたわけです。加